

第12回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成8年5月8日（水）
 14：00～16：00
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) N A S A 戦略計画について
 (3) 宇宙通信の将来像と今後の研究開発の推進方策について
 (4) 第18回宇宙ステーション利用計画ワークショップの開催
 について
4. 資 料 委11-1 第10回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委12-1 第11回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委12-2 「N A S A 戦略計画」について
 委12-3 第18回宇宙ステーション利用計画ワークショップ
 の開催について

委 1 1 - 1

第 1 0 回宇宙開発委員会（定例会議） 議事要旨（案）

1. 日時 平成 8 年 4 月 1 7 日（水）
1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
2. 場所 委員会会議室
3. 議題
 - (1) 前回議事要旨の確認について
 - (2) G P S を巡る最近の動向について
 - (3) 海洋観測衛星 1 号 b (MOS-1b) の運用終了について
 - (4) H - II A ロケットの検討状況について
 - (5) H - II ロケット 4 号機による地球観測プラットフォーム技術衛星 (A D E O S) 及び M - V ロケット 1 号機による第 16 号科学衛星 (M U S E S - B) の打上げに係る安全の確保に関する調査審議について
4. 資料

委 1 0 - 1	第 9 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委 1 0 - 2	G P S を巡る最近の動向について
委 1 0 - 3	海洋観測衛星 1 号 b (MOS-1b) の運用終了について
委 1 0 - 4	H - II A ロケットの検討状況について
委 1 0 - 5	H - II ロケット 4 号機による地球観測プラットフォーム技術衛星 (A D E O S) 及び M - V ロケット 1 号機による第 16 号科学衛星 (M U S E S - B) の打上げに係る安全の確保に関する調査審議について（案）
5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	野 村 民 也
宇宙開発委員会委員	山 口 開 生
〃	末 松 安 晴
〃	長 柄 喜 一 郎

関係省庁	
通商産業省機械情報産業局次長	一 柳 良 雄（代理）
運輸省運輸政策局次長	龍 野 孝 雄 〃
郵政大臣官房技術総括審議官	岡 井 元 〃

事務局	
科学技術庁長官官房審議官	間 宮 馨
科学技術庁研究開発局宇宙政策課長	林 幸 秀 他

6. 議事

(1) 前回議事要旨の確認について

第9回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委10-1）が確認された。

(2) GPSを巡る最近の動向について

衛星測位システム協議会より、資料委10-2に基づき、GPSを巡る最近の動向として、GPS政策に関する米国大統領声明（1996年3月29日発表）等について説明が行われた。

これに関し、委員より、GPSの精度向上等について質問がなされるとともに、今後とも米国の情報収集に努めて欲しいとの発言があった。

(3) 海洋観測衛星1号b（MOS-1b）の運用終了について

宇宙開発事業団より、資料委10-3に基づき、海洋観測衛星1号b（MOS-1b）の運用終了について、同衛星のバッテリー機能劣化が確認されたことから、速やかに停波作業を実施すること等の説明が行われた。

これに関し、委員より、MOS-1bの運用状況について質問がなされ、同衛星が設計寿命より長く運用できた要因について検討し、今後の衛星開発に活かすようにとの発言があった。

(4) H-II Aロケットの検討状況について

宇宙開発事業団より、資料委10-4に基づき、H-II Aロケットについて、①多様な輸送需要への柔軟な対応、②信頼性を確保した打上げ費用の低減、③整備作業の自動化・効率化を配慮したシステムの簡素化を主要開発目標とし、これに関する概念設計作業及び開発スケジュール等の説明が行われた。

これに関し、委員より、設計段階から外部専門家の意見を聞き、開発を進めること、また、宇宙開発計画の見直し要望の必要性について検討を進めるようにとの発言があった。

(5) H-II ロケット4号機による地球観測プラットフォーム技術衛星（ADEOS）及びM-Vロケット1号機による第16号科学衛星（MUSES-B）の打上げに係る安全の確保に関する調査審議について

事務局より、資料委10-5に基づき、H-II ロケット4号機による地球観測プラットフォーム技術衛星（ADEOS）及びM-Vロケット1号機による第16号科学衛星（MUSES-B）の打上げに係る安全の確保に関する調査審議について説明があり、事務局案の通り、安全評価部会に審議付託することが決定された。

以上

委 1 2 - 1

第 1 1 回宇宙開発委員会（定例会議） 議事要旨（案）

1. 日時 平成 8 年 4 月 2 4 日（水）
1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 4 5
2. 場所 委員会会議室
3. 議題
 - (1) 前回議事要旨の確認について
 - (2) 宇宙開発計画について
 - (3) 宇宙ステーション取付型実験モジュール（J E M）に係る安全評価のための基本指針について
 - (4) 地球資源衛星 1 号（J E R S - 1）「ふよう 1 号」の状況について
4. 資料

委 1 1 - 1	第 1 0 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委 1 1 - 2	宇宙開発計画（案）
委 1 1 - 3	宇宙ステーション取付型実験モジュール（J E M）に係る安全評価のための基本指針（案）
委 1 1 - 4	地球資源衛星（J E R S - 1）「ふよう 1 号」の状況について（報告）
5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	野 村 民 也
宇宙開発委員会委員	山 口 開 生
〃	末 松 安 晴
〃	長 柄 喜 一 郎

関係省庁	
通商産業省機械情報産業局次長	一 柳 良 雄（代理）
運輸省運輸政策局次長	龍 野 孝 雄 〃
郵政大臣官房技術総括審議官	岡 井 元 〃
文部大臣官房審議官（学術国際局担当）	中 西 釦 治 〃

事務局	
科学技術庁研究開発局長	加 藤 康 宏
科学技術庁研究開発局宇宙政策課長	林 幸 秀 他

6. 議事

(1) 前回議事要旨の確認について

第10回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委11-1）については、委員より修正意見が出されたため、事務局で修文案を作成の上、次回改めて確認することとなった。

(2) 宇宙開発計画について

事務局より、資料委11-2に基づき、宇宙開発計画（案）について、前年度から開発フェーズを移行する6プロジェクトを中心に内容の説明が行われた。

これに関し、委員より、J-Iロケット及びM-Vロケットの今後の位置づけについて質問がなされ、事務局より、J-Iロケット及びM-Vロケットのペイロードやコスト低減等、今後、計画調整部会において検討していくことが重要である旨の説明があった。その上で、事務局案のとおり、「宇宙開発計画」が決定され、内閣総理大臣に報告されることとなった。

なお、その報告に際して、内閣総理大臣が宇宙開発事業団法第24条に規定する宇宙開発に関する基本計画を定めるに当たり、今回決定した「宇宙開発計画」の内容に変更を加えない場合には、宇宙開発委員会の議決を経たものとして取り扱って差し支えない旨申し添えることとした。

(3) 宇宙ステーション取付型実験モジュール（JEM）に係る安全評価のための基本指針について

山中安全評価部会JEM安全分科会長及び事務局より、資料委11-3に基づき、JEMに係る安全評価のための基本指針（案）について説明が行われ、了承された。

なお、山中分科会長より、今回の指針では、健康管理等運用面については未定な部分も多いため記述していないが、今後、本格的運用開始前までに検討を進め、適宜指針に盛り込む旨の説明があった。

(4) 地球資源衛星1号（JERS-1）「ふよう1号」の状況について

宇宙開発事業団より、資料委11-4に基づき、平成8年4月17日に発生した地球資源衛星1号（JERS-1）「ふよう1号」のトラブルについて、現状は回復し正常に運用していること、また、トラブル発生の経緯、原因、及び今後の対策が説明された。

これに関し、委員より、パドル追尾用太陽センサ等の状況や、追尾方式についての質問があり、これに対し宇宙開発事業団から技術的な説明がなされた。また、委員より、今回の経験を今後の衛星運用方法に活かしていくことが重要である、との発言があった。

以上